令和２（2020）年度　島根大学教員免許状更新講習シラバス【選択領域】

講習名	【選択】言語・コミュニケーション発達の理論に基づいた障害がある子どもの指導の実際				
授業形態	動画視聴・個人学習	時間数	6 時間	定員	50 名
受講期間	資料等送付予定日 令和 2 年 11 月 8 日(日) 修了認定試験等返送締切日 令和 2 年 11 月 30 日(月)（必着）	履修認定対象職種	教諭・養護教諭		
		主な受講対象者	全校種		
担当講師	樋口 和彦（島根大学学術研究院教育学系　准教授）				
到達目標	（1）幼児・児童・生徒の言語・コミュニケーションの変容過程を理解する。 （2）幼児・児童・生徒が有する課題を学習・発達の視点から評価することができる。 （3）理解した心理・言語の知識に基づいて、障害がある子どもの具体的な指導方法を考えることができる。				
講習の内容	特別支援教育対象の幼児・児童・生徒が、特別支援学校、特別支援学級のみならず通常学級にも多く存在する。学習指導要領の自立活動の内容は大綱的で、教師自身が障害の状態や発達の状況等に即して、具体的な指導内容を工夫することを求められる。子どもの発達や学習の状況の理解は、教師にとって重要な課題である。 本講義では、まず、特別支援教育に活用できる理論として、健常児の言語・コミュニケーションに関する内容を中心に理解を深める。特に、健常児の対人関係や認知に関する学習・発達のメカニズム、環境との相互作用（社会・文化的・歴史的視点：子どもが活動したくなる環境の準備等）について詳細に説明する。次に、種々の障害の状況（発達障害から重度・重複障害の子どもまで）を分析し指導への活用方法について、具体例を提示して講義する。具体例では、島根県立松江養護学校の高梨桂子氏が１事例の話題提供を行う。 なお、本講習の内容は、基盤となる理論を「文化心理学」「生態心理学」においているため、同一講師の「発達理論に基づいた園児（乳・幼児）の指導」と重複する部分がある。				
日程 ※個人ワークの進み具合によって、講習時間が多少変更となる場合があります。	80 分間	（動画視聴・課題）対人関係の発達と障害がある子どもの支援①			
	80 分間	（動画視聴・課題）対人関係の発達と障害がある子どもの支援②			
	80 分間	（動画視聴・課題）認知・言語の発達と障害がある子どもの支援			
	80 分間	（動画視聴・課題）学習の文脈（子どもが活動したくなる環境）と障害がある子どもの支援			
	40 分間	修了認定試験 事後評価アンケート記入			
試験方法	筆記試験(郵送、自筆)	試験時のノート・配布資料の参照	可		
評価基準	・到達目標にあげた内容を理解し説明できる。 ・総得点の 6 割以上を認定とする。 ・課題の提出により、講習への積極的な参加が認められる。				
講習に関して各自準備するもの	・DVD(DVD-Video 形式)の再生ができる機器。パソコンでの再生を行う際には、ソフトウェアが必要となる場合があります。				
事前課題	・特になし				
留意事項	11 月 8 日頃に資料、授業動画の入った DVD、修了認定試験(問題・解答用紙)、免許状更新講習受講者評価書を更新講習システムに登録されている住所宛てに送付します。(11 月 10 日までに届かない場合は問い合わせてください）動画を視聴し、指示に従って個人で課題を行ってください。課題は返送してください。 動画を視聴したうえで、修了認定試験および免許状更新講習受講者評価書に必ず自筆で回答をし、島根大学教師教育研究センターまで返送ください。資料および授業の動画の複製は認められません。DVD は講習終了後返送してください。 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。higuchi@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。				